

「香川同友の森」で、8回目の間伐を実施 ～フォレストマッチングで協働の森づくり～

平成25年6月9日（日）、香川県中小企業家同友会の会員とその家族の皆さん70人が、高松市塩江町の「香川同友の森」で、第8回森づくり活動（間伐）を行いました。



<参加者の皆さんで記念撮影>

参加者は、5班に分かれて塩江町森林組合職員や県職員の指導を受けながら、林内の整理、間伐作業などを行いました。



<巻き枯らし間伐作業>



<間伐作業>



<枝払い作業>



<玉切り作業体験>

1時間30分程度の活動で、林内は少しずつ明るくなりました。作業終了後、参加者からは「木を切って光の入る瞬間が感動する」などの感想が聞かれました。

また子供たちは巻き枯らし間伐などを体験しました。巻き枯らし間伐とは、表皮を剥いて水分や養分の流れを止め木を枯らす間伐の方法です。子供達からは「木の皮を剥くとぬるぬるしていて木が生きているのが分かった」という声がありました。

香川県中小企業家同友会は、今後も継続して間伐活動を実施する予定にしています。